ＣＬＴフォーラム2017

参加費
無料

日時：2017年10月26日（木）13：30～17：00（開場13：00）

会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター　ホール7A　定員：350名

（左）8階建て木造コンドミニアム「Carbon 12」（PATH Architecture / Rendring : Baumberger Studio）　（中）「Yuki Hayama Studio」（E.P.A環境変換装置建築研究所 / Photo : 畠山直哉）　（右）建設中の10階建て集合住宅「Dalston Lane」（Waugh Thistleton Architects）

＜プログラム＞

13：30　（開会）

13：35～14：20　（講演）　＜同時通訳付き＞
アンドリュー・ワウ（Waugh Thistleton Architects ディレクター）
「A New Timber Architecture」

14：20～15：05　（講演）　＜同時通訳付き＞
クリスティン・スラヴィン（PATH Architecture アソシエイト）
「Tall Timber: Sustainable Urban Infill」

15：05～15：20　（休憩）

15：20～16：05　（講演）
武松 幸治（E.P.A 環境変換装置建築研究所 主宰）
「意匠性を重視したCLTの開発と日本のこれから」

16：05～17：00　（ディスカッション／質疑応答）
司会：小見山陽介（エムロード環境造形研究所）
登壇者：アンドリュー・ワウ／クリスティン・スラヴィン／武松 幸治

終了後 17:15～18:30に懇親会を行います。合わせて是非ご参加ください。
会費 : 5,000円　　会場：同ビル 9階バンケットホール9C

共催：CLT建築推進協議会　／　公益社団法人 日本建築家協会　／　一般社団法人 日本CLT協会
後援：一般社団法人 日本建築学会　／　CLTで地方創生を実現する首長連合

お申込み：日本CLT協会HP　http://clta.jp/events/5079/より

ＣＬＴフォーラム2017

講演者プロフィール

アンドリュー・ワウ（Andrew Waugh）

イギリス出身。CLTを利用した多数の建築で世界をリードする建築事務所「Waugh Thistleton」）の創設者、共同経営者。2003年に個人邸の増築工事でCLTを利用し、その後の2009年竣工のCLTによる9階建て集合住宅「Murray Grove」を手掛ける。その後も、サステナビリティーをキーワードに数々のCLTプロジェクトに携わっている。

クリスティン・スラヴィン（Kristin Slavin）

アメリカ出身。テキサス工科大学建築学科卒業、オレゴン大学で修士号取得。2010年より「PATH Architecture」勤務。同事務所が設計するCLTや集成材を使った木造8階建てコンドミニアムのプロジェクト「Carbon 12」に関わる。

武松 幸治（たけまつ ゆきはる）

Photo / Masayuki Hayashi

1963年 長崎県生まれ。多摩美術大学　美術学部建築科卒。1987年 株式会社ユニテ設計・計画。1991年 環境変換装置建築研究所一級建築事務所設立。環境配慮型建築のプロジェクトも多く手がけ、近年は大規模木造建築に力を入れ、非営利公益法人不燃化技術研究組合などを設立し、耐火性能のある都市の木造化に取り組んでいる。

開催趣旨

日本では2016年4月にCLTに関する建築基準関連告示が施行され、一般利用がスタートしました。本フォーラムでは、CLTを使った建築物について英米の事例から学ぶと共に、建築家同士のディスカッションを通じて、日本での議論を深め、また、CLT建築普及のための機とすべく企画いたしました。

会場

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

ホール 7A

東京都新宿区市谷八幡町８番地

アクセス

JR総武線 市ケ谷駅 徒歩2分
東京メトロ南北線 市ケ谷駅 7番出口 徒歩1分
東京メトロ有楽町線 市ケ谷駅 7番出口 徒歩1分
都営新宿線 市ケ谷駅 4番出口 徒歩2分
※A4出口ではございませんのでご注意ください。

＜お申込み＞日本CLT協会HP　http://clta.jp/events/5079/より

お問い合わせ先：一般社団法人日本CLT協会　TEL：03-5825-4774　MAIL：events@clta.jp